

教育広報

南 会

編集・発行 福島県教育庁南会津教育事務所  
 発行責任者 渡辺 惣吾  
 編集協力 市町村教委連絡協議会南会津支会  
 南会津郡小中学校長協議会

## 『教師が変わることによって、子どもが変わる』

福島県教育庁南会津教育事務所長  
 渡辺 惣吾

年末に中央教育審議会から、学習指導要領の改訂に向けた審議結果が答申されました。文科省では答申を受け、小中学校については今年度中に、新学習指導要領を示す予定になっています。

これまで内容中心だった指導要領が、それぞれの教科を学ぶことにより「どんな資質・能力が身につくか」が明記されることとなり、学び方として「アクティブ・ラーニング」の視点が強く打ち出されています。児童生徒が能動的に授業に参加する指導・学習方法がこれまで以上に求められます。

話は変わりますが、私が大学生の時、「自分が本当に教師になってよいのか」「教師としてやっていけるのか」…と真剣に悩んでいる時がありました。そんな時に会ったのが「教師が変わることによって、子どもが変わる」という言葉です。当時宮城教育大学の学長であった林竹二先生の著書にあった言葉で、私はそれからしばらく大

学の図書館にこもり、先生の著書を読みあさりました。そうして「今は未熟でも、教師になって、子どものために変わり続ける努力をしよう」という気持ちになったことを今でも覚えています。

教師はなぜ学び続けなければならないのか。私は教師という職業の重要性、特殊性、また様々な現代的課題に対応するため、アクティブ・ラーニング等の理論と実践の往還を図り、求められる指導技術を高めるとともに、これまでに以上に「これからの時代の教師はどうあるべきか」「どのような学校、学級を創りたいのか」「自分はどのような授業を目指すのか」といった教師の信念や姿勢といった根底の部分を、自分と向きあい、また時に仲間と議論し磨いていくことが重要であると考えています。

子どもたちの未来への可能性を信じるため、教師にはこれまで以上に、変わり続ける努力が求められていると思います。

## 『茸やマムシが少なくなったのは、なぜ？少子化は？』

南会津郡小中学校長協議会会長

馬場 永好

## 『今年マムシが居ない！』

今年、熊の出没が多いのは昨年ブナの実が豊作だったから。熊が多く生まれる年はマムシが少ない？熊は草食動物のはずなのに…最近の熊はシカを襲い内臓だけ（それ以外は手をつけない）を食べたとの話。内臓を食べることで栄養を取ること（肉食動物の特徴）を覚えたのか？また、山に食べ物不足してマムシを襲い、ひいては人間をも襲うようになったとの説もあり。（本校の若い教員の意見）

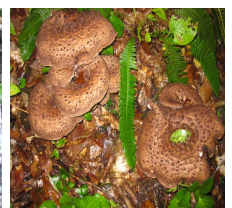
## 『松茸などの茸が年々出なくなっている！』

松茸が採れなくなった理由として、昔は茸の胞子がカゴの隙間から落ちていたが、近年は、ナイロン袋やリックなので胞子が、こぼれなくなったという説や温暖化や酸性雨で出なくなったという説などあるが、詳しいことは分からない。私が行くブナの木に切付け（ナタで木にキズを付け文字を彫ること）があり、そこには「平成元年 松タケ 五〇〇本」その横には「平成十二年 松タケ 二〇一本」と記されていた。私でさえ百本の話は聞いたことがあるが二百以上は分からぬ世界である。五百本の松茸は1回で背負えない量なので1人で何回も荷下ろし（荷物を背負って往復すること）するか、数人で背負って来るしかないだろうが…。松茸に限らず他のキノ

コも出が悪くなっていることは間違いない。舞茸は栽培が可能となり松茸も山で栽培が試されているらしいがシシ茸もこれからは栽培できる時代が来るのだろうか。

## 『郡内小中学校の変容と少子化について』

昭和44年度南会津郡内の学校数は、小学校23校（分校も23校）、中学校14校（分校：2校）、小・中学校の合計は37校そこに分校を併せると62校と現在の約3倍の学校があった。ちなみに児童・生徒数は小学生5,962名、中学生3,499名で合計9,461名。現在は小学生1,176名、中学生664名の合計1,840名と5分の1以下に激減している。自然や社会環境がどんどん変化していることで人間も動植物と同様の道を辿るのであろうか。食い止める何かいい方法は、ないものだろうか。



上:黒マムシ・下:赤

松茸

シシ茸

# 南会津夢教育2016

郷土を愛し、夢や希望をもってともにたくましく生きる子どもの育成

## 放射線教育実践協力校 南会津町立田島中学校

各教科等の指導と関連づけた放射線教育  
～「正確な知識」の取得と「実践力」を育成～

放射線の影響が少なく、子どもたちの意識も高くない南会津地区。本校では、この現状を踏まえて放射線教育の目標として、子どもたちの興味・関心を高めながら「A 正確な基礎的な知識」の習得と「B 実践力」の育成の2つを、バランスよく育むことを目指しました。

5月・7月の授業研究から研究の方向性を見だし、夏休みには県除染プラザの協力を得て放射線に関する職員研修を実施してきたところです。

11月の公開授業では、2年理科の「天気とその変化」で、大気循環の原理原則を理解させた上で、原発災害後の3月12日と15日の天気図から放射性物質の拡散状況を子どもたちに予想させ、その理由について考えさせ比較検討させるというものでした。

様々な教科や領域の中で放射線教育と関連させた指導が可能であり、求められている正確な知識の習得と実践力の育成につながっていると感じました。

昨年未の横浜や新潟でのいじめ報道は大変残念でしたが、次代を担う福島の子どもたちが自らの状況を正しく説明できるようにさせるためにも、より一層放射線教育が重要であることを再認したところです。



## 道徳教育推進校 南会津町立松沢小学校

個性を認め、他者を尊重しながらよりよく生きる  
児童の育成 — 豊かな関わり合いを通して—

昨今の急激な社会の変化、いじめ問題への対応等、道徳教育の果たす役割は今後ますます大きくなってきます。平成30年度の道徳教科化へ向け、本校でも、試行錯誤の中で研究を進めてきました。

効果的な資料提示の工夫。互いの考えや価値観を交流させる話し合いの場の工夫。自己振り返りの場の確保。また、教材研究力や発問・板書などの教育技術の向上、揭示の工夫、別葉の活用等々…。その重要性を改めて確認できました。さらに、教育効果を高める上で重要なのは家庭や地域との連携です。保護者や地域人材・ボランティアと協力した授業づくりは、互いのよさを認め合う温かな校風・伝統を考える上で欠かすことはできません。

児童の変容を通して、道徳教育の重要性を再認識しています。今後も授業改善やさらなる研究の充実を通して、地域・家庭との連携を密に図りながら、これからの南会津を担う心豊かな人材を育成する道徳教育に努めていきたいと思ひます。



## 家庭教育力の向上をめざして

12月9日(金)に御蔵入交流館多目的ホールにおいて地域家庭教育推進南会津ブロック会議を行いました。ブロック会議は、郡PTA代表・地域代表・企業代表・町村教育委員会の方等にお集まりいただき、域内の家庭教育の課題解決の方法を探るために年に2回の協議を行っています。その会議で、域内の課題を「メディアコントロール」「読書」「食育」とし、課題解決をめざしてきました。南会津教育事務所では、課題解決のために2つの支援をしてきました。1つ目は、福島県教育委員会の事業である「親子の学び応援講座」を実施し、保護者、児童生徒、教職員に講演を聞いていただき、話し合いをするなどして課題解決に向けた実践意欲の向上を図りました。2つ目は、学校や町村教育委員会と連携して、家庭教育支援南会津の会に協力していただきながら、就学時健康診断時に家庭教育講話を行いました。これらの取組を踏まえ、さらに、各家庭での実践を促したいという趣旨のもと、地域家庭教育南会津ブロック会議から提言をいただきました。提言は、域内の課題について教育事務所と連携して家庭教育力の向上を目指すというものです。それぞれの家庭で取り組んでもらいたい内容を取組シートとして課題ごとに作成してあります。

南会津教育事務所のホームページに載せてありますので、ぜひ、ご活用ください。



<ブロック会議の様子>

(メディアコントロール)

**家族みんなで話し合おう**

ゲーム機、スマホなどで家族にネットに繋がる機器がだいたい1台ずつ、ネットが多用な時代は、とても便利なツールにはなっていますが、しかし、不用意にネットを操作すると知らず知らずのうちにウイルスやフィッシング詐欺などの被害に遭う危険性があります。また、ネットを操作する際に、個人情報の流出や、悪意のある第三者からの攻撃を受ける危険性があります。インターネットを安全に利用するために、家族みんなで話し合い、対策を講じていきましょう。

**我が家の約束**

ポイント1 メディアコントロールを、話し合いし、ふれあったりする時間を確保します。

ポイント2 メディアで知り合った他人と不審なやり取り、自慢げな写真を送ったり、本名や住所など個人情報が流出しないよう気を付けさせます。

ポイント3 フィルタリングを導入します。(検索履歴をブロックします。)

ポイント4 子供がスマホ(携帯スマホ・タブレットスマホ・自動スマホ)はしません。

※ 約束をつけたことは、必ず守らなくてはなりません。約束を守らなければ話し合いし直し、地域家庭教育推進南会津ブロック会議・南会津教育事務所

**決めよう! 我が家の約束**

<取組シート、メディアコントロール>

教育委員会より

南会津町教育委員会

主幹兼課長補佐兼指導主事 稲本 泰彦

私は、現在南会津町教育委員会学校教育課に勤務し、指導主事として2年目を迎えております。23年間勤務した学校現場を離れ、教育行政という立場での仕事には大変不安がりましたが、毎日楽しく仕事できております。改めまして南会津町教育委員会の職員の方々をはじめ、多くの皆様のご指導とご支援に心より感謝申し上げます。

南会津町では、昨年度右記のとおり『南会津町教育大綱』を策定しました。常日頃より、この教育大綱の実現を最大の目標として、南会津町の宝である子どもたちのために、学校や地域と心をつなげて教育行政を進めていきたいと考えております。そのためにもこの職に就き改めて大切であると痛感させられた「誠意」という言葉を胸に、学校現場の最前線でご指導いただいている先生方や、家庭及び地域で協力いただいている住民の皆様にとって、「頼りになる指導主事」を目指して今後も努力していきたいと思っております。

南会津町教育大綱

【理念】  
次世代の地域を担う人材の育成

【基本目標】

I 自ら学ぶ人を育みます

目標をもって生活し、その充実のために自ら積極的に学ぼうとする人を育みます。

II 町を愛し、思いやりのある人を育みます

ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する心やお互いを思いやる心をもった人を育みます。

III 伝統文化の保存と継承に努め、心豊かな人を育みます

ふるさとの貴重な伝統文化の保存や継承に努め、地域に誇りと希望をもって生活できる心豊かな人を育みます。

児童作品紹介

「ふくしまっ子ごはんコンテスト」



小学校 下学年の部・優秀賞

題名 「んだべえらいす」  
学校名 南会津町立荒海小学校 1年  
名前 木下 茉優



◇ 工夫した点  
おうちでつくった、あさどりやさいをつかって、みなみあいづまちの「んだべえ」をつくりました。

題名 「わたしにもできる！えいよういっぱいあさごはん」  
学校名 南会津町立田島小学校 2年  
名前 宮島 清良



◇ 工夫した点  
会津のほぞんしょくの車ぶは、大ききなチーズをのせて食べやすくしました。ヨーグルトは、お母さんの手づくりで、あさごはんには、かならず出ます。

小学校 上学年の部・佳作

題名 「食物せんいたっぷり和の朝食」  
学校名 南会津町立田島小学校 6年  
名前 大竹 輝羅

◇ 工夫した点  
お母さんの実家でとれたお米と、おばあちゃんが育てた野菜です。  
切り干し大根は、おばあちゃんに頼んで、天日干しで作ってもらいました。生に比べて栄養価が高くなります。みそ汁には、生もずくとわかめを使い、食物せんいたっぷりで、腸内環境を整えてくれます。



## 「1年間を振り返って」

只見町立只見小学校  
校長 関根 隆

『選べない出会いを選んだ以上の出会いに』

そう心に決めて、只見小学校において校長としての第一歩を踏み出しました。私は、4月に13名の教職員、55名の児童と選べない出会いをしました。私は、教職員や児童を心から信頼し、感謝して、人間関係を築いてきました。そうすればきっと『選んだ以上の出会い』になると信じているからです。

また、教職員にも『55名の児童との選べない出会いを選んだ以上の出会いにしてください』と年度初めの職員会議でお願いしました。

そしてもうすぐ1年。教職員は子どもたちに力をつけるために、日々全力で指導にあたっています。子どもたちも目標を持ち、努力を積み上げることで、成長した新しい自分との出会いを喜んでいきます。教職員は、まさに子どもたちとの出会いを『選んだ以上』にしています。

私は、これからも『選べない出会いを選んだ以上の出会いに』を実践していこうと考えています。

「檜枝岐小中学校での  
一年を振り返って」

檜枝岐村立檜枝岐中学校  
教頭 藤井 義朗

檜枝岐小中学校に赴任して、もうすぐ一年が過ぎようとしています。初めての土地・初めての職務に、驚くことの連続で、毎日新鮮な気持ちで過ごせています。

特に、私にとって新鮮で、驚きとなっていることは、檜枝岐小中学校の環境の良さです。毎日小学生に挨拶され、給食と一緒に食べたり、行事と一緒にいたりしているのは、三月までの二十年間、中学生に囲まれて生活してきた私にとっては想像もつかなかったことで、小学生の愛くるしさ・中学生の頼もしさを日々感じています。また、尾瀬はもちろん、豊かで美しい自然に囲まれ、四季の移り変わりを感じながら毎日過ごしていることも、貴重な体験です。

本校の子どもたちにとっては、ごく当たり前のことかもしれませんが、とても貴重で恵まれていることを日々の活動の中で伝えていきたいと思えます。また、普通の一日に思えても、実は新たな発見や小さな成果・感動があるはずで、それを感じられるような感性や心も育てていきたいと思えます。

## 「1年間を振り返って」

南会津町立田島第二小学校  
教諭 影山 綾香

私は小学2年生時の担任の先生のおかげでこの職業を夢見るようになりました。その長年の夢が叶ったことは、本当に嬉しいです。しかし、子どもの大切な1年を預かる責任重大な職業であり、初めてのことばかりで「私にできるのか…」「どんな発問をするのか」「どんな教材を使うのか…」という不安がありました。しかし4月からもう9か月。授業の準備に追われてつらいとき、うまくいかないことがあって落ち込んでも、子どもたちが、笑顔で「先生大好き！」や「先生あのね…」と話してくれるので多くの元気をもらって頑張ることができています。これからの自分の課題は、授業面では今よりもっと子どもたちの興味をひく授業をすること。生徒指導面では、子どもと一緒に「なぜだめなのか」「これからどうするか」を考えていける余裕をもつことです。

親切に相談に乗ってくださる先生方、協力的な保護者、豊かな自然に恵まれた田島第二小学校に感謝し、これからも試行錯誤を重ねて頑張っていきたいと思えます。

## 「1年間を振り返って」

下郷町立下郷中学校校  
教諭 遠藤 真希

下郷中学校に赴任したこの1年は、多くのことを勉強させて頂き、走り回った1年になりました。

南会津には何度か訪れたことがありましたが、今回実際に生活し、よさをたくさん感じる事ができました。特にそう感じたことは、“人のあたたかさ”です。今年度、学級担任、部活動の顧問を持たせて頂き、生徒たちと互いに思いを伝え合ったり、相談したりしながら、活動してきました。上手くいくことはほとんど無く、何度も助言してくれる同僚の先生がいたり、「先生、手伝いますよ！」と気遣ってくれる生徒がいたり、何度も助けられました。また、朝練の準備で校庭にラインを引いていると、遠くから「先生、おつかれさまー！」と声をかけてくれる送迎の保護者の方がいて、その度に、人のあたたかさに触れ、元気をもらうことができました。不安もありましたが、今は南会津の方々と過ごす時間がとても楽しく充実した時間です。

今後も、多くの方々の優しさや助言を大切にし、感謝の気持ちを持って活動していきたいと思えます。

## 編集後記

今年の冬も雪が少ないのかと思っていたところへの1月の大寒波。南会津らしい雪景色となりました。寄稿いただいた先生方の、真摯で前向きな姿・実践が南会津の「夢教育」を実現する原動力となっています。ご協力いただき、ありがとうございました。